

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777 (通話料無料)
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 <a href="http://www.shizuki.co.jp/">http://www.shizuki.co.jp/</a> ※事故その他のやむをえない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部

## ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 『指月(シヅキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州(現在の山口県)の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城(指月城)から名をお借りしたのが命名の由来です。



## 株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号  
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807  
URL [www.shizuki.co.jp](http://www.shizuki.co.jp)



## 株主通信

## 第89期 報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

## メッセージ

将来への種をまきながら、  
目の前の収穫を、より確実なものに。

## 特集:シヅキのツヅキ

## 自動車用コンデンサ



証券コード 6994 / 東証二部

株式会社 指月電機製作所

## AIM2018 事業領域の11ドメイン



### 今回の主なトピックス

秋田指月が品質マネジメントの国際規格を取得

秋田指月が国際規格「ISO/TS16949」を取得しました。国内・海外を問わず、拡大していく電気自動車市場に向け、その確かな品質をもって、積極的に拡販してまいります。

高校生インターンシップの実施

2016年10月、3日間のインターンシップを実施。今後もこのような取り組みを通して、地域や社会への貢献に努めてまいります。

→ 詳しくはP7-P8をご覧ください

## 将来への種をまきながら、目の前の収穫を、より確実なものに。

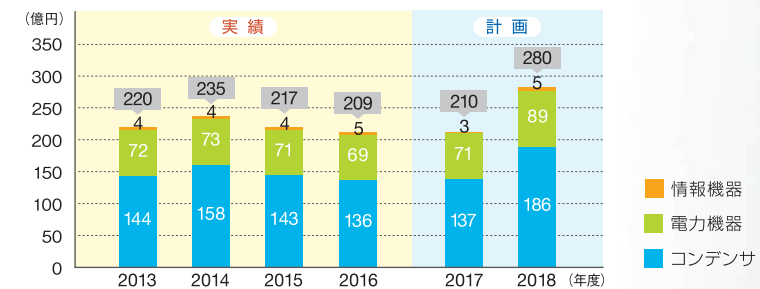
円安から円高へと揺れ動く為替や、英国のEU離脱問題、アジア経済の減速など、依然として先行き不透明な状況がつづくなか、シヅキでは、受注・売上の確保、収益改善に向けた活動に努めてまいりました。しかし、結果として第89期は2期連続の減収・減益となりました。

私たちは今期、自動車用コンデンサの需要拡大を見据えた「岡山指月の第3工場新設」や、2016年10月に立ち上げた村田製作所との合併会社による新素材開発など、将来の大きな収穫に向けた種まきを進めてまいりました。その一方で、市場の変化によって、今期に収穫を見込んでいた受注のいくつかを逸してしまったことが、減収・減益という結果につながったと考えております。

近年、外的環境の変化は、ますます速さと激しさを増しています。たとえば、この数年好況がつづいていた産業用インバータ向けのコンデンサの需要が、突如減少に転じました。これまで順調に増産を重ねてきただけに、その予測は困難でした。そんななか、たとえ外的な環境に変化が生じて、スピードを伴った対応でそれをカバーしていけるような、しなやかな体制づくりが求められています。シヅキのものづくりを担う現場。その対応力の強化を、今私たちが取り組むべき大きな課題のひとつであると捉え、改善を進めてまいります。

代表執行役社長 伊藤 薫

中長期経営計画 AIM2018 売上高実績と計画



# 「スピード」と「経営参画意識」。 足もとから現場を見直し、強い組織をつくる

時期尚早な増設を、教訓として生かす。  
発想を転換し、スピードを強化。

将来の収益拡大に向けて種をまきながらも、現在目の前にある収穫のチャンスを、しっかりと刈り取っていく。そんな体制をつくるためには、環境の変化に素早く適応できるスピードが必要だと考えます。

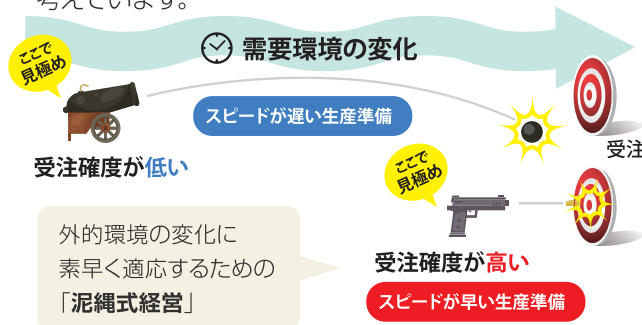
“泥棒を捕らえて縄を縛う”という諺（ことわざ）があります。泥棒を捕まえてから慌てて縄を準備しても、泥棒は逃げてしまう。事が起きてから慌てて準備を始めても遅いということの例えとして、よく使われる言葉です。

しかし、発想を変えてみると、泥棒が来ないのに縄を用意しては、その縄（準備）が無駄になってしまう可能性もあるわけです。私たちも受注拡大を見込んで早めに設備増強をしたところ需要環境が変化し、増強した設備を遊ばせてしまうという経験をしました。縄が必要になるのは泥棒を捕まえた時であり、ジャストインタイム（JIT）の経営思想を疎かにして早過ぎる準備をしたことを反省しなければなりません。

無駄を出さず、機会損失を出さず。  
スピードが生むのは、精度の高い経営判断。

しかし、泥棒がいつ来るのかを前もって知ることができないように、環境の変化を予測するのは難しいものです。では、どうすればよいのでしょうか。私は、“縄を縛うスピードを極限まで高めること”しかないと考えています。これまで1年かかっていた準備期間を半年、3ヶ月と縮めていく。すると、縄（設備）が必要かどうかの見極めを間際まで引きつけて、より精度の高い判断を下せるようになります。

新たな受注の機を捉えつつ、その準備を損失にすることなく、遅すぎず機会損失に悔やむことのないように供給体制を構築。そんな「泥縄式経営」が、外的環境の変化に素早く適応するための理想型ではないかと考えています。



現場の改善と経営参画意識につながる、  
「小集団活動」をスタート。

さらに、シヅキでは、2016年から新たに始めた取り組みによって、現場レベルでの自主改善が進みつつあります。社内で「小集団活動」と呼んでいるその活動は、各拠点の社員たちが10名1組の少人数グループに分かれ、生産性を高めるための案や、職場の環境をより良くするための意見を出し合い、それを実行に移していくものです。定期的に拠点大会や全社大会を開いて発表を行い、優れた取り組みを評価するとともに、その成功事例を社内に共有していきます。

少人数グループのなかでは、社員一人の意見が相対的に大きくなるため、一人ひとりの経営参画への意識が高まっていくことを期待しています。第一回目の全国大会では、ユニークな発表や、ふだん顔を合わせることもない社員同士の交流が生まれ、現場の空気もより明るく前向きなものに変わりつつある兆しを感じています。

社員一人ひとりが経営的な視点から改善を行い、スピードと柔軟な対応力を備えた現場をつくり上げていく。より強力な組織をつくりあげ、その土壌の上に今期までしてきた種が育ち、実を結んでいくことで、大きな成果を生み出していきたいと考えております。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 将来の収穫に向けて、 育ちつつある種

- ✓ 岡山指月の第3工場が今年7月に稼働。自動車用コンデンサの生産増強へ
- ✓ 合併会社による、村田製作所との共同開発が順調に進行中。



シツキから旅立ち、  
社会を支える商品たち

vol.8

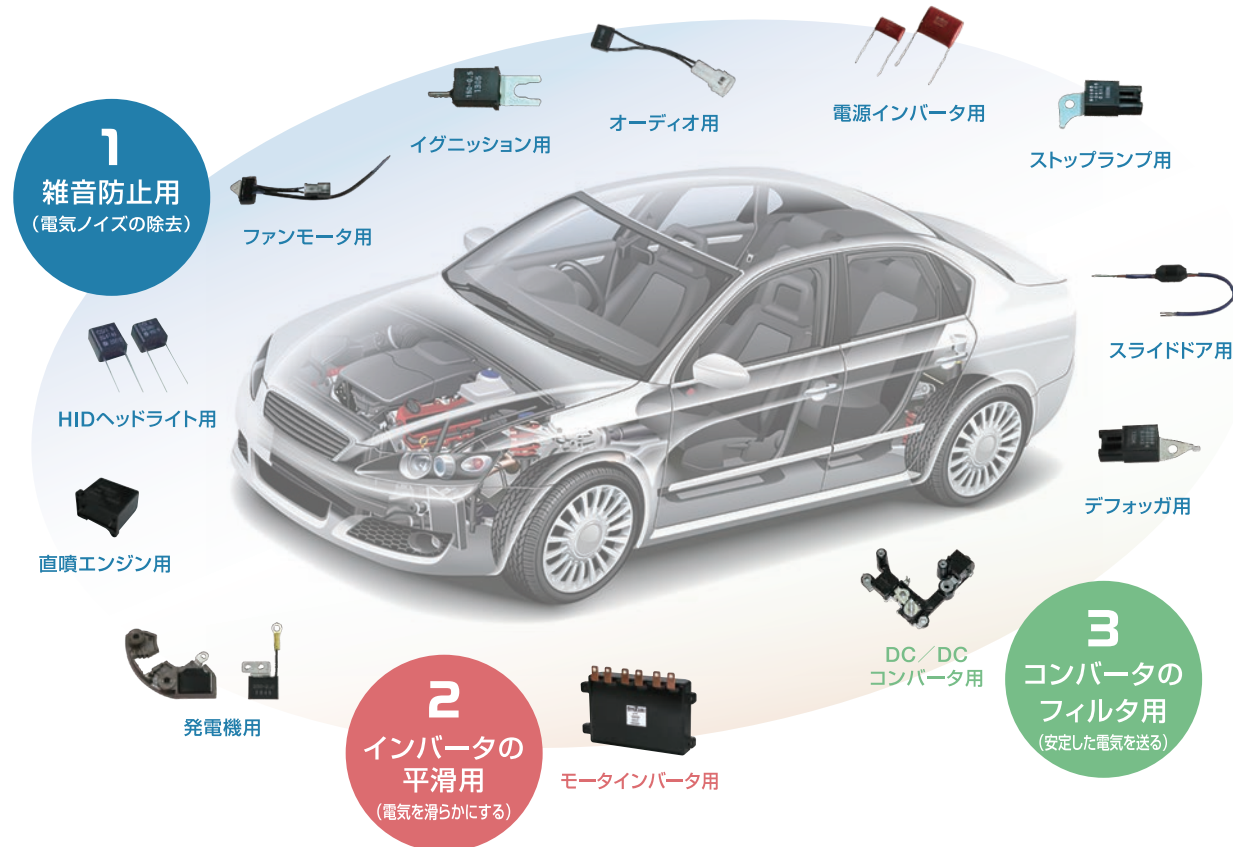
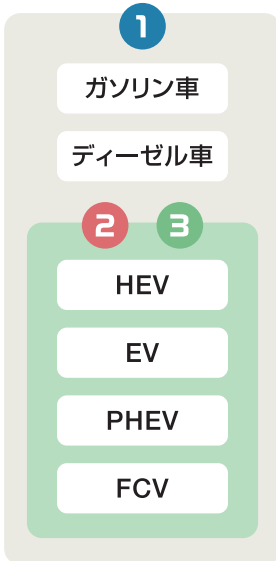
モータや電装品に、きれいな電気を送る。  
安全で快適なドライブと、地球環境に貢献!

## 自動車用コンデンサ

シツキが1954年からつくり続けている「自動車用コンデンサ」。自動車の各部で電子制御化が進むなか、電気を最適なかたちに整えるコンデンサは、安全で快適なドライブを支えてきました。今では、次世代のエコカーとして需要が高まる「電気自動車」のなかでも、シツキのコンデンサが活躍しています。

### 自動車用コンデンサの3つの役割

自動車用コンデンサの役割は、大きく3つに分かれます。これまでのガソリン車やディーゼル車では「電気ノイズの除去」を、さらに次世代エコカーであるEV(電気自動車)や、HEV(ハイブリッド自動車)、PHEV(プラグイン・ハイブリッド自動車)などでは、「電気ノイズの除去」に加えて、「インバータの平滑用」「コンバータのフィルタ用」としても活用されています。



### 1 電装品のノイズを取り除く!

#### 雑音防止用コンデンサ

ワイパーやパワーウインド、発電機など、自動車に搭載されている電装品からは「電気ノイズ」が発生します。コンデンサの「直流は通さず、交流は通す」性質を利用し、電気ノイズを低減させて、外部への流出を最低限に抑えています。

### 2 安定したモータ駆動を支える!

#### インバータの平滑用コンデンサ

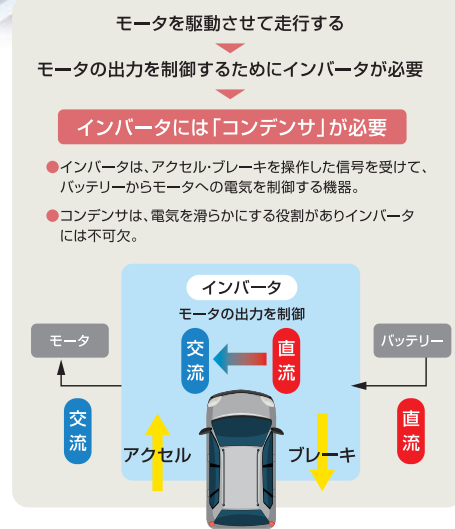
次世代エコカーには、駆動用のモータが搭載されています。そのモータにも、コンデンサが活躍。モータの出力を制御する「インバータ」のなかで、電圧の変動をコントロールし、安定したモータ駆動を実現しています。

※ハイブリッド自動車(HEV)は、エンジンとモータの2つの動力で走行します。

### 3 安定した電気を供給する!

#### コンバータのフィルタ用コンデンサ

電装品の電源にも、シツキのコンデンサが使われています。バッテリーから受けた電圧を、それぞれの電装品に合わせて降圧する「コンバータ」。コンデンサは、「コンバータ」の電圧入力側・出力側それぞれに搭載され、安定した電気を送るフィルタの役割を担っています。



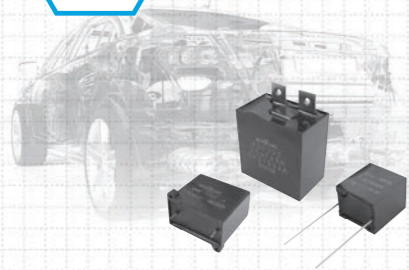
第3工場 電気自動車のニーズ拡大に向けて、岡山指月の新工場が完成間近!



電気自動車の需要の高まりに備えて、シツキでは自動車用コンデンサの生産増強をめざし、岡山指月株式会社にて第3工場を新設。2017年7月に竣工を迎えます。



## 秋田指月が品質マネジメントの国際規格を取得



写真の商品はサンプル品です

秋田指月株式会社が、国際規格「ISO/TS16949」を取得しました。「ISO/TS16949」とは、お客さまから高度な品質管理体制が求められる、自動車業界向けの品質マネジメントシステム規格です。この規格を取得したことで、グローバル市場へと参入する際に、自らが高度な品質マネジメントシステムを保有していることを世界に証明することができます。認証の対象となったのは、自動車用の「直流平滑用コンデンサモジュール」。電気自動車など、次世代のエコカーに欠かせないコンデンサです。国内・海外を問わず、今後ますます拡大していく電気自動車市場に向け、その確かな品質をもって、積極的に拡販してまいります。



## 高校生インターンシップの実施



シヅキでは、2016年10月、3日間のインターンシップを実施。近隣の工業高校から2年生の生徒3名が参加し、構内の安全パトロールやCADを使った製図、工場での製品の組み立てなどを体験してもらいました。参加した学生からは「学校では学ぶことのできない体験ができた」とお礼のお手紙をいただきました。今後もこのような取り組みを通して、地域や社会への貢献に努めてまいります。



難燃性ガス入り  
高圧進相コンデンサ

でしょ？

んだよ。火に強いつて、クール  
第42回遊澤賞」も受賞した  
評価されて「日本電気協会  
1997年には安全性が  
いろんな場所で活躍中。  
病院や学校、マンションまで、  
火災への安全性が高まって、  
採用したのさ。そのおかげで  
難燃性の「SF6ガス」を  
ていた合成油に代わって、  
それまで絶縁体に使われ  
タイプのコンデンサ。  
した、世界初のオイルレス  
ボクらは1984年に卒業

難燃性ガス入り  
高圧進相コンデンサ

卒業生の手紙 ⑤  
火災に強い難燃性、  
世界初の  
クールな技術！

## 新型アクティブフィルタを開発

～小型・小容量タイプで、省スペースと省エネを実現～

### 体積1/2、質量1/3。競争力を強めた小型商品の投入へ

システムや機器を動かす電気のなかに高調波が含まれていると、その性能を十分に発揮できなかつたり、熱やノイズが発生したり、最悪の場合は故障を引き起こすこともあります。周波数と電圧が一定で、高調波の含有が少ない「質の高い電気」を実現するためには、高調波に働きかけてその影響を打ち消す「アクティブフィルタ」が必要です。

この度シヅキでは、補償容量が10,20,30kVAの小型・小容量タイプの「新型アクティブフィルタ」を開発しました。当社の標準品と比較し、その体積は約1/2、質量は約1/3という小型化を実現。省スペース性はもちろん、施工性も向上し、取付工事も一段と楽になりました。さらに、軽負荷時に装置が自動待機モードに切り替わる「負荷連動運転機能」を標準搭載しており、省エネにも貢献。新たなニーズの創出をめざします。

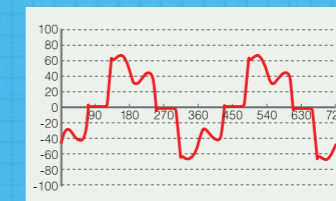


5月17日から開催された  
「JECA FAIR2017 ～第65回電設工業展～」に  
参考出展しました!

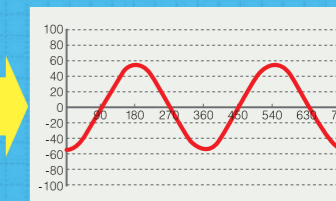
## アクティブフィルタの仕組みについて

アクティブフィルタは、発生した高調波に対して「逆」の補償電流を流すことにより、その高調波を打ち消します。これによって、乱れた電気の波形がなめらかに変わり、「質の高い電気」を実現しているのです。つまり、「アクティブ」という名前の通り、自ら高調波に働きかける「能動型」のフィルタということです。

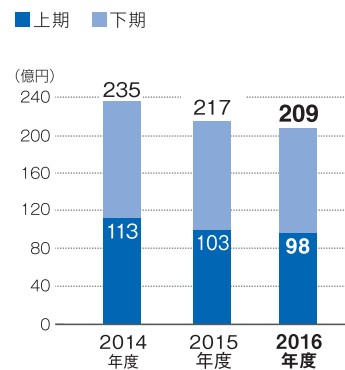
対策前



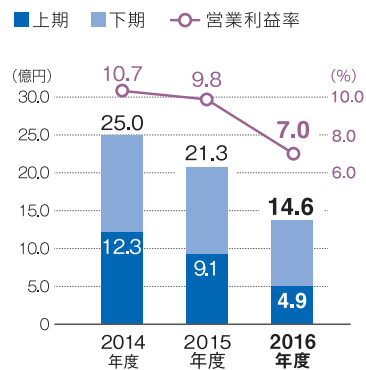
対策後



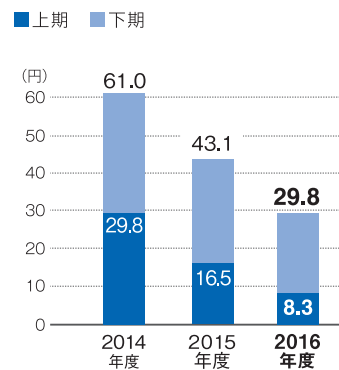
売上高



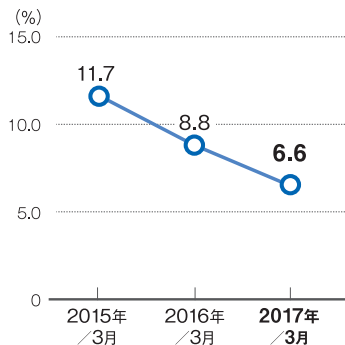
営業利益・営業利益率



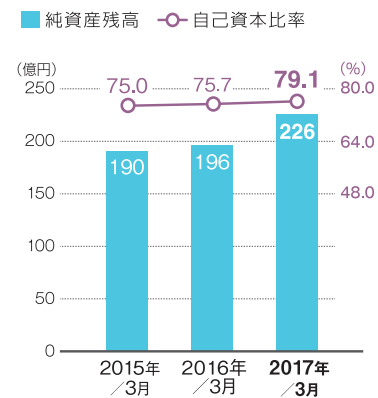
1株当たり利益(EPS)



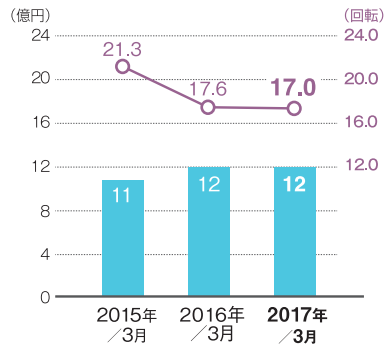
総資産経常利益率(ROA)



純資産残高・自己資本比率



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



Point

業績面では売上減少の影響や、電力機器システムでの高採算商品の減少、電気二重層コンデンサの一部改修費用の見積計上などにより、減収減益となりました。財務面では、自己資本比率は79.1%と安定感を増しております。

(注)十万円の位を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第88期 期末 2016年3月31日現在	第89期 期末 2017年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	13,423	15,590
現金及び預金	6,378	6,901
受取手形、売掛金及び電子記録債権	5,445	7,086
棚卸資産	1,232	1,228
その他資産	367	373
有形固定資産	10,386	10,858
無形固定資産	34	52
投資その他の資産	1,747	1,748
資産合計	25,592	28,249
<b>負債の部</b>		
流動負債	3,797	3,521
固定負債	2,221	2,118
負債合計	6,018	5,640
<b>純資産の部</b>		
株主資本	18,223	20,988
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	3,308	4,276
利益剰余金	11,159	11,731
自己株式	△1,245	△20
その他の包括利益累計額	1,139	1,370
非支配株主持分	211	249
純資産合計	19,574	22,609
負債純資産合計	25,592	28,249

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第88期 期末 2015年4月1日から 2016年3月31日まで	第89期 期末 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
売上高	21,728	20,933
売上原価	15,137	15,099
売上総利益	6,591	5,833
販売費及び一般管理費	4,465	4,377
営業利益	2,125	1,456
営業外収益	331	458
営業外費用	217	147
経常利益	2,239	1,766
特別利益	-	74
特別損失	326	299
税金等調整前当期純利益	1,913	1,541
法人税、住民税及び事業税	635	442
法人税等調整額	△23	126
当期純利益	1,301	973
非支配株主に帰属する当期純利益	46	47
親会社株主に帰属する当期純利益	1,254	925

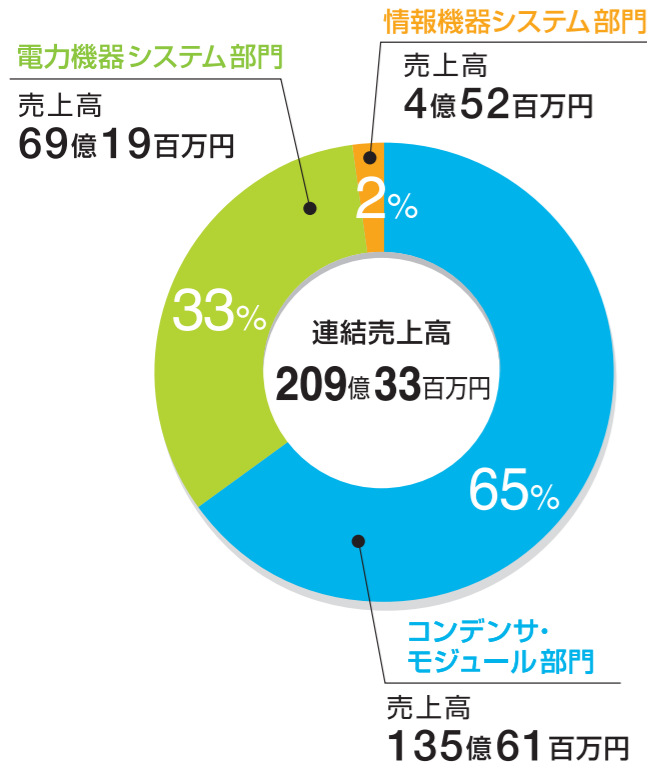
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

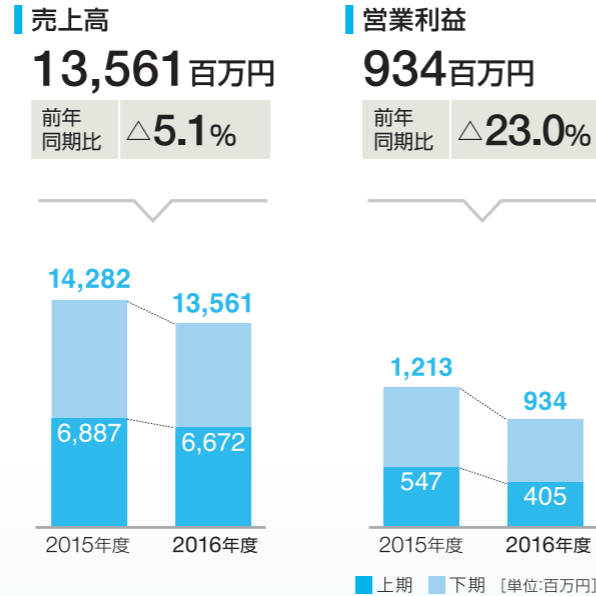
科目	第88期 期末 2015年4月1日から 2016年3月31日まで	第89期 期末 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,200	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52	△1,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343	1,859
現金及び現金同等物に係る換算差額	△76	4
現金及び現金同等物の増減額	727	522
現金及び現金同等物の期首残高	5,651	6,378
現金及び現金同等物の期末残高	6,378	6,901

# セグメント情報

## ■ 部門別売上高比率 (2017年3月)



### 売上高構成比率 65% コンデンサ・モジュール部門

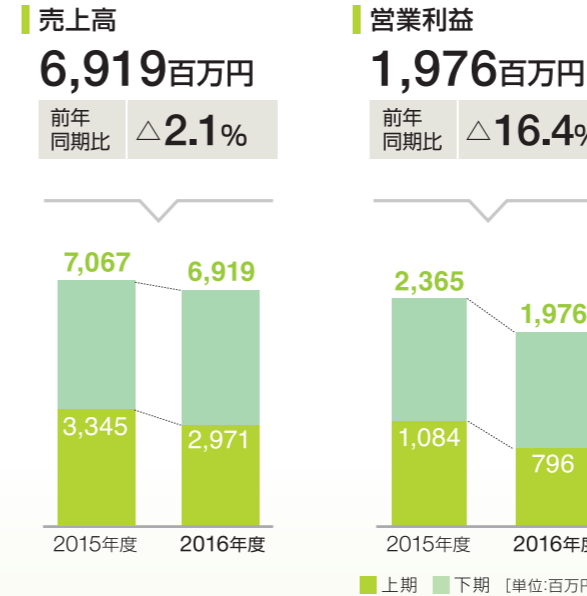


電鉄車両用フィルムコンデンサは、第2四半期までは堅調に推移しましたが、後半は伸び悩み、前年度比で微増となりました。また、海外の新しいお客様への納入を開始、今後、増販を目指します。大型インバータ用フィルムコンデンサは、FA関連の製造が好調で、前年度比で35%の増加となりました。今後も需要増加が見込まれますので、営業活動を強化し、受注獲得を目指します。



大型インバータ用フィルムコンデンサ

### 売上高構成比率 33% 電力機器システム部門

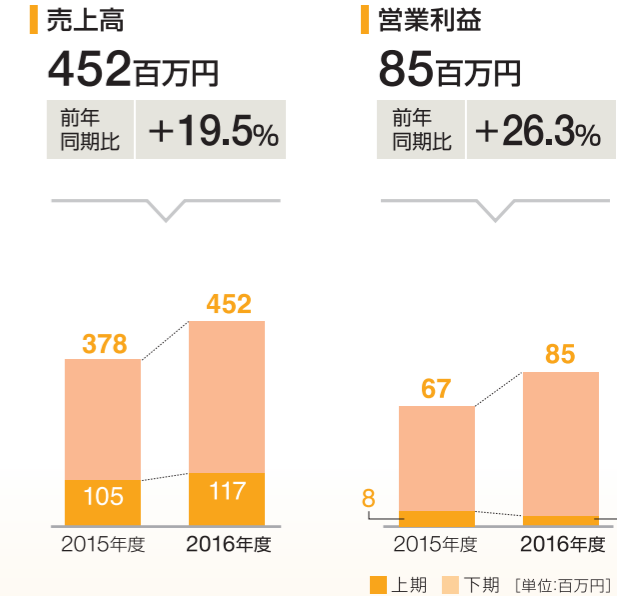


電力品質改善では、高調波抑制装置の大口受注もあり、前年度比で+15%と伸ばしました。小型小容量タイプの開発が完了、ラインナップ強化で新規顧客の獲得と売上拡大を目指します。また、韓国企業に対して韓国の代理店を通し販路の拡大に成功しました。継続的な受注を確保しております。今後も国内海外に向けて、商品開発の強化と、シェア拡大に向け取り組んでまいります。

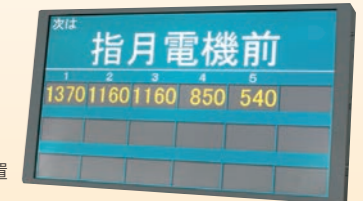


高調波抑制装置 アクティブフィルタ

### 売上高構成比率 2% 情報機器システム部門



情報機器システムの主力商品であるバス車載用表示装置が堅調に売上げを伸ばしました。また、今期は電鉄向けの発車標の大口受注があり、前年度比で20%の売上増加となりました。引き続き、商品開発とラインナップ拡充を進め、販売強化に努めてまいります。



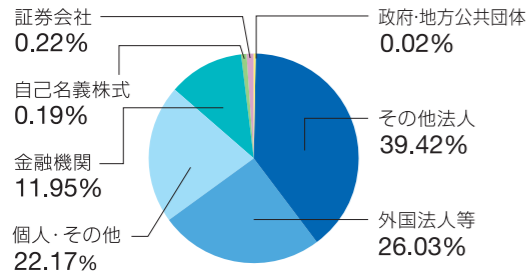
バス車載用運賃表示装置

※セグメント別の営業利益については、調整額△1,540百万円があります。(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)

株式の状況

発行可能株式総数	128,503,000株
発行済株式総数	33,061,003株
株主数	3,127名

所有者別株式数分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	21.11
株式会社村田製作所	4,471	13.52
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	4,291	12.98
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	2,156	6.52
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS 613	1,522	4.60
株式会社りそな銀行	1,299	3.92
株式会社みなと銀行	925	2.79
指月協友持株会	832	2.51
指月電機製作所自社株投資会	493	1.49
株式会社ノーリツ	450	1.36

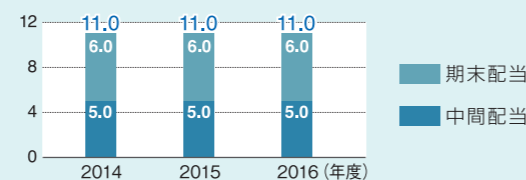
株価の推移(円)



期末配当金 1株当たり 6円

1. 期末配当金 1株当たり6円
2. 支払対象者 平成29年3月31日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
3. 支払開始日 平成29年6月9日

1株当たりの配当実績 (単位:円)



【お知らせ】当社株式の流動性の向上及び投資家の拡大を図るとともに、全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、平成29年1月1日付で単元株式数を1,000株から100株に変更しました。

会社概要

商号 株式会社指月電機製作所  
 英文名称 SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.  
 本店所在地 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号  
 TEL:0798-74-5821  
 ホームページ <http://www.shizuki.co.jp/>  
 創業年月日 1939年 3月10日  
 設立年月日 1947年 9月 1日  
 資本金 5,001,745,595円  
 グループ人員数 1,320名  
 主要取扱業務 ■コンデンサ及び関連機器・装置  
 ■電力機器・装置  
 ■情報機器・装置  
 の製造販売  
 営業拠点 ●東京支社  
 ●東京支店/関西支店/中部支店  
 ●仙台営業所/日立営業所  
 広島営業所/福岡営業所

役員

取締役

取締役会会長	伊藤 薫*
取締役	友松 哲也*
取締役	山本 則彦
取締役	増田 幹登*
取締役	鳥川 光春*
取締役	森 公利*

\*は執行役を兼任 ※は社外取締役

執行役

代表執行役社長	伊藤 薫
専務執行役	足達 信章
常務執行役	友松 哲也
執行役	小田 敦
執行役	藤原 健吾

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	300,000千円	100.0

販売・生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシツキ株式会社(米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千バーツ	70.0